（2）奥州ふるさと応援寄附返礼品の事例紹介について（1/2）

定例記者会見資料　令和７年８月１日　政策企画部ふるさと交流課

返礼品の米人気が続く中で、当市にはお米以外にも、高い技術や確かな伝統に基づいた豊かなものづくりの技があります。各返礼品出品事業者の、特徴的かつバリエーションに富んだ取組みをご紹介します。

1　ふるさと納税返礼品出品事業者の事例紹介

・バンドシー株式会社

Bandc Basket Oval

国内ホテルのリクエストで生まれたオーバル型のバスケットは、幅広いシーンの収納に活躍し、盛岡市のヘラルボニーの旗艦店「ISAI PARK」でも使用されています。製品の素材は米袋の持ち手と同じ和紙バンドを採用。牛乳パックの製造時に発生する端材をリサイクルした原料が使用され、人と地球の未来にやさしい、サステナブルな暮らしの道具です。

・岩手シューズ株式会社（REGAL)

「岩手革×REGAL CORPORATION」

国内流通わずか1%、希少価値が高い日本短角種「短角牛」。食用となったのち、命の一部である皮を無駄なく活用したエシカルな商品。
脂身の少ない短角牛ならではの肉厚で丈夫な革は、胆沢地域にある工場で、職人の手により愛情込めた一足に生まれ変わります。大自然で育成された際のキズや血筋なども、世界に一つの魅力となります。

・彫金工芸菊広×三品商店

江刺金札仕込　焼き味噌おにぎり KIKUHINA（きくひな）

江刺地域の同じ町内会に所属する事業者同志によるコラボレーション商品。ブランド米江刺金札米を使用した味噌おにぎりは、一つ一つ手作りされた愛情豊かな味。
おにぎりが入った小箱は、伝統工芸品岩谷堂箪笥と同じ材料・製法で作られ、彫金師により施された「手打ち彫り」が見事な一品で、食べた後は小物入れとしても使えます。

（2）奥州ふるさと応援寄附返礼品の事例紹介について（2/2）

定例記者会見資料　令和７年８月１日　政策企画部ふるさと交流課

ふるさと納税における返礼品は、応援したい地域を知る入口となり、自治体の魅力を寄附者へアピールすることで、関係人口＝奥州ファン獲得の可能性が拡大します。ふるさと納税をツールとして、全国の奥州ファンを虜にする、魅力的な返礼品出品事業者を募集しています。

2 新規参入事業者の募集について

●現在の返礼品出品事業者は68者

●出品事業者の主な要件
（1）市内に本社または支店、営業所等があり、事業実態が認められる団体等
（2）市税の滞納がなく、暴力団員等と密接な関係を有しないこと
（3）厳重な個人情報の取扱いとインターネット接続環境が整備され、日常的な通信販売体制がとれること

●返礼品の主な要件
（1）奥州市からの謝礼としてふさわしく、かつ、奥州市のＰＲにつながるもの
（2）ふるさと納税に関する各種法令、総務省通知の趣旨に反する内容でないもの
（3）他団体等がすでに商標登録していないもの。ただし、商標権者の承諾を得ている場合を除く。
（4）国の出荷制限指示品目等に該当せず、品質及び数量の面において安定供給が可能であるもの

⇒これらの要件に基づき、返礼品検討会議の審査を経て市が返礼品として採用を決定します。

★　HOT　NEWS　★
令和７年７月21日、当市返礼品出品事業者である「パン工房 くろしぇっと」の「恋するカレーパン　キーマの誘惑2.0」が、全国カレーパングランプリ2025「キーマカレーパン部門」で金賞を受賞しました。受賞はこれが４度目で、初回2021年金賞の「恋するカレーパン　キーマの誘惑」は、返礼品でも取り扱っています。

ふるさと納税への取組みは、事業者のテストマーケティングや販路拡大、広告宣伝としても有効です！